



とこなめ中央商店街

常滑市



キャッチフレーズ

陶彫のある商店街

事業実施の背景

日本六古窯に数えられる日本有数のやきものの産地常滑の中心部にあり、約40の店舗が旧道沿いに軒を並べる趣のある商店街。昭和30年代には100以上の店舗が並び市内随一の賑やかな商店街であったが、最近では衰退傾向にあり、空き店舗も散見される状況となっていた。商店街の北側に隣接して、近年観光資源として注目され年間10万人の観光客が訪れる「やきもの散歩道」があり、平成18年には、商店街の東側にINAXライブミュージアムが整備され、商店街は二つの人気スポットをつなぐ絶好の位置となった。これが転機となり、商店街に人を呼び込む仕掛けづくりなど、活性化に向けた機運が高まった。

事業の概要

【陶彫ミュージアム】

平成18年から、常滑陶彫会から常滑焼の陶彫作品の寄贈を受け、街中に展示して商店街を「陶彫ミュージアム」とする取組みを行っている。当初40体を設置、順次増設し、現在では約100体の陶彫を設置。あわせて陶彫の写生大会や、ミニコンサート等も実施している。

こうした取組みを進める中、とこなめ国際やきものホームステイの外国人参加者からも陶彫作品が提供されたり、地元小学校では全児童が陶彫を製作、学校の塀に展示したりするなど、商店街の枠を超えた地域との新たな連携の和も広がりつつある。



街並みに溶け込む陶彫狛犬



住宅の敷地にも陶彫が

陶彫：通常、陶磁器製の人形置物玩具類は粘土の原像から石膏で型を取り、その型から品物を作るが、原像をそのまま焼成。



出合い橋ポケットパーク



お客を招く



商店街入口に設置された陶彫マップの看板



陶彫の他にも、旧・東海銀行店舗やからくり時計など雰囲気のある建造物も

事業の効果

- ・ 鉄道会社のハイキングツアーの際には、2,000人近くの方が街を訪れた。最近では、写真を撮る方や絵を描く方が多く見受けられるようになり、また訪れる方の年代層も広がるなど来街者の構成にも変化が見られる。
- ・ この取組みにより、商店街だけでなく地域が一体となって陶彫ゾーン、文化ゾーンとして、街全体の魅力を高め、賑わいを創出しようとの機運が高まっている。

事業の課題

街に人を呼び込む仕掛けができた。今後、来街者の増加や商店街の魅力を高めるため、ポケットパークでのコンサートや空き店舗を活用した陶芸品販売などを行っていくほか、商店街を高齢者向けの憩いの場とする取組みも進めていく。

商店街の基本データ

名称：とこなめ中央商店街

会長 伊藤仁久

所在地：〒479-0828

常滑市市場町2-62

電話：0569-34-8820

構成員：約40名

URL：http://www.toko.or.jp/cyuo/index.html

